

様

- ◇ この検査は足の付け根から動脈にカテーテルという管を挿入し、造影剤を用いて脳血管を調べる検査です。
- ◇ この検査は侵襲性を伴う検査であり、合併症の危険性もゼロではありません。検査の目的、必要性をご理解頂た上で行っております。
(承諾書の内容をよくお読みになり、サインをしていただきます。)
- ◇ 検査時間は約1時間で、検査前・後に色々な処置、制限があります（下記表を参照してください）。
- ◇ 太い血管に管を挿入するため、管を抜いた後の出血を防ぐため、検査後の安静は必ず守ってください。
検査終了後に10分間圧迫止血をします。その後は圧迫帯をつけて6時間圧迫を続けます。

経過	脳血管撮影検査日（1日目）					検査翌日（2日目）
	検査日（検査前）	帰宅時	30分－1時間後	3時間－5時間後	6時間後以降	
日時	月 日					月 日
目標	不安、心配を和らげ万全の状態 で検査に臨むことができる。	検査後の苦痛が最小限に抑えられ、 安静を守ることができる。				合併症が起きずに退院できる。
食事	<u>昼食は半分程度食べてください。</u> 	吐き気等がなければ、 飲水・食事が許可され ます。	造影剤の排泄を促すた め、水分を多めにとっ ていただきます。	夕食は、 <u>おにぎりになります。</u>		制限はありません。 
活動		ベット上安静をしていただきます。針をさした足は曲げられません。 食事、トイレ等もベット上で寝たままの状態です。 			歩行可能となります。 看護師が止血の確認に行き ますのでお待ち下さい。	制限はありません。 
清潔		<u>入浴できません。</u> 				入浴できます。 
点滴	左手から点滴をとります。 		点滴が終了したら抜去します。			
検査	例目で 時頃より開始予定です。					
処置	血管の触れをみるために足の甲に印をつけます。 足の付け根から針をさすため両足の付け根の剃毛 を行い前張りをつけます。 病衣だけになっていただき、ベットのまま検査室 に行きます。	時間ごとに足の脈の触れを確認します。 <u>足がしびれたり、痛いときは申し出て下さい。</u>			看護師が圧迫帯を外しに 行きますので、自分では 外さないで下さい。	
備考	<u>薬のアレルギー等があるときは申し出て下さい。</u> 特別な栄養管理の必要性 有 ・  40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。					

* 状態に応じて予定が変更となる場合があります。

主治医 _____ 印 _____

主治医署名 _____
※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 看護師： 薬剤師： 栄養士：



脳血管撮影検査(鼠径用)を受けられる患者様へ(退院療養計画書)

脳-35-01A-2

年 月 日

病 棟	6階きた 入院 フロア
主 治 医	
退院後の治療計画	☐ 当院当科外来で通院治療を行います。 ☐ 他院 () で通院治療を続けます。 ☐ その他
退院後の療養上の留意点	☐ 特にありません ☐ その他
保健医療サービス又は福祉サービス	・ 特にありません
そ の 他	